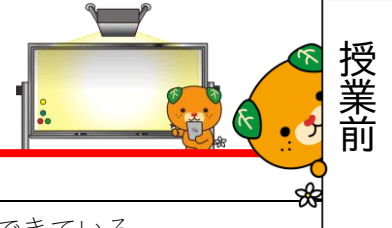


ICT 機器

子どもたちの健康に気を付けて使っていますか？

すべての教育活動は子どもたちの健康の上に成り立つものです。学校での積極的な ICT 活用と並行して、児童生徒の健康や生活についての配慮も忘れずをお願いします。

★ ICT 機器を使用する「授業の前」にチェックをお願いします。



光への対応 (自然光・照明光)	室内の明るさ	<input type="checkbox"/> カーテンは厚手か遮光のものを使用している。
		<input type="checkbox"/> カーテン又はブラインドの使用により教室内の明るさが調節できている。 ※晴れた日の教室は要注意です。外と教室内の明るさの差が極端に異なると目に負担となります。晴天時はカーテンやブラインドを必ず使用しましょう。
		<input type="checkbox"/> 照明を点灯できている。 ※映り込み防止のために教室の照明をすべて消してしまうと児童生徒の瞳孔が開き、焦点が合いづらくなり、目が疲れやすくなります。手元は明るくし、状況に応じて電子黒板、スクリーン（以下「電子黒板等」）周辺の照明だけを消します。 基本的には照明を点けた状態でカーテンやブラインドを閉めて使用します。
画面の反射	<input type="checkbox"/> 窓に背を向ける角度にする、窓から離すなど、光が映り込まないように電子黒板等の設置位置に配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 廊下側の光が、電子機器の画面に映り込んでいない。 <input type="checkbox"/> カーテン又はブラインドの使用により、電子機器の画面に自然光が映り込んでいない。	
	<input type="checkbox"/> 状況に応じ、電子黒板等付近の照明を消す対応で画面の光反射を軽減できている。	
画面の明るさ	<input type="checkbox"/> 照明に応じて十分な明るさを確保するため、電子黒板やパソコン等の画面の明るさを調節している。テレビやコンピュータ等の画面の垂直面照度は、 ※100~500ルクス程度が望ましい。(※各学校で照度を測ること)	
	その他	<input type="checkbox"/> ※色のバリアフリーに配慮した、誰もが見やすい資料を作成している。(※背景色と文字色のコントラストをつける・色の多用を避ける・明度を変える・パターン模様を利用する・色以外の情報をつける等) <input type="checkbox"/> 教室最後部の座席の児童生徒からも ※見やすい表示 にしている。(※最小限の情報量・大きい文字・拡大機能利用等) <input type="checkbox"/> 電子黒板等と最前列の児童生徒との距離を一定程度離し、見やすい距離を確保している。

★ ICT 機器を使用する「授業中」にチェックをお願いします。
 教職員が繰り返しチェックすることで、児童生徒自身が自発的に確認する習慣が身に付けばいいですね。

目	<input type="checkbox"/> 電子黒板等が見やすい位置に机やイスを移動するよう促している。
	<input type="checkbox"/> 視線とタブレット PC の画面が直交するように、機器の角度を調節する声掛けをしている。
	<input type="checkbox"/> 長時間画面を注視しすぎないように、画面から目を離したり、目を休ませるように声掛けしながら授業を進めている。
耳	<input type="checkbox"/> 電子機器にヘッドフォンをつなぎ使用する場合は、音量に注意している。
姿勢	<input type="checkbox"/> 机といすの高さが作業に適した高さかどうか、確認している。
	<input type="checkbox"/> 姿勢に気を付けるよう、声掛けをしている。
	<input type="checkbox"/> 授業中、発表や活動作業を活発にして、長時間同じ姿勢にならないように工夫している。
環境	<input type="checkbox"/> 使用しない教材教具を片付けるよう声掛けし、作業しやすい机上環境になるよう指導している。

★ その他



- 児童生徒の視力の低下がないか、定期的にチェックしましょう。
- 照明設備改修や新設の場合は、天井の照明はむき出しにせず、間接照明などの反射防止対策を施すことも考えましょう。